

松浦未来会議2回目2018.11.19まとめ

地区	年代	これから10年を考える上で大切な視点はなんですか？という問いに対する参加者の意見
鷹島	40代	AR@ワクワク体験 お金 鷹島を舞台に元軍と戦う。魚を釣って体力回復 学校活用！！オートキャンプ場設備を充実。九州一のオートキャンプ場。花いっぱい。富良野のように作る。
鷹島	60代	島全体の公園化。紅葉 花公園→観光客増→出店増→雇用創出 釣公園 オートキャンプ
鷹島	70代	1.現在も大切であります。最も重要なことは人づくりである 2.10年間の基本構想であるか。短期長期に区分から重要であると思われる（財源が伴う）？ 3.人口が減少しても幸せな生活ができる町づくりが必要 4.子ども達に郷土（文化）を教えること。
鷹島	不明	活性化は地区、地区から。
福島	30代	子供の数（出生率）を維持する。→他市と比べて子育て補助が充実している。新婚でなくても、既婚で多く出生している。他市へもアピールすることで、転居も促すことができる。
福島	30代	住宅を提供する（分譲、市営）→隣市に働いている人も多く、他の土地へ勤めるにしても、住宅を松浦にしよう
福島	40代	10年後の松浦への視点 住民が住みよい町①子供を育てる環境強化（補助→OK、公園など遊べる場所の整備）②上下水道の整備（地区での合併浄化槽の推進飲み水の向上（アルプスの水並みに湧水を強化））③老人、障がい者への環境整備④まじめな人がバカをみない町（生活保護、母子家庭などの不正をただす）所得（自営業）の適正申告
福島	40代	10年後の松浦への視点 人口増加→納税増→町の活性化 ①住んだら良いと思うPR（子育て、補助、減税）②住宅プロジェクト（アパート資金＝住宅、マンション代）で融資する③交通改革（バス、電車の利用増）
福島	60代	出生率を上げるには、子育て世代への女性と幼い頃から教育が必要。松浦高に中国語学科を導入する
福島	60代	専門学校及び大学等の設立でかなりの人口増となり地域が豊かになる
福島	60代	魅力のある町一人・物器・財源—高校までの医療費無償化や教育補助の充実・良い制度の保持—若者へのアピール。外部—手段…？
今福	30代	この先10年のための視点 ・公共サービスの選択と集中。立地は西九州道沿線に絞る。そこに公共交通機関を走らせる。これをもって医療、教育のサービス低下を防ぐ。中学校は1校が良い。みんなバスで通うから。
今福	30代	・経済的な幸せは追いつけない子供を作り、教育を施せるまちなにする。仕事はIT。高校にIT科英語科を作る。その後卒業生の市内での企業支援をする。・縦割りではなく、横断的交流を支援する。もって若年層のコミュニティを作る。Ex)企業同士で合同入社式、合同忘年会など
今福	50代	もっと楽しくできる農業。外に出てたくさんのお金を吸収して戻ってきてくれるシステムが必要。
今福	50代	市内の人がたくさん結婚して楽しく暮らす！！→人口も増えて張り合いがでる→活気が出る
今福	50代	外に出ていった人たちが”松浦”に戻ってくるために魅力のある町（市）にするには・・・起業しやすい仕組みづくり。官民一緒に考えていく 会議の場も必要であるけれどももっとアクティブにつくりあげるしくみになる様に、異業種交流もおもしろいと思います
今福	50代	今、住んでいる人たちの幸せを思いやる気持ちを育てる。場づくり、人づくり。・幼者共生・だれもが気軽に集まるどころ
今福	50代	ストレスのない住みよい町 おいしい水でおいしい米を農家の人でなくみんなで作る 企業全体で出会いバックアップ
今福	60代	市内において、市民（労働者）と一緒に何かを催し和を作る。男女の出会いを推進し家族をふやす。企業も大事だが、かえってきて満足できるような施設なりも必要と思う
今福	60代	10年後の人口目標値 バランスが良ければそれでよい
今福	60代	住みよい町をつくる 道路の整備等 人の交流
今福	70代	安心して住める町づくり
今福	70代	ぜいたくな生活でなく質素な町づくり

地区	年代	これから10年を考える上で大切な視点はなんですか？という問いに対する参加者の意見
調川	20代	子供の数を増やすには？ ・養育費の負担減少←市の取り組みPR ・お見合い活動を大規模化→敷居を低くし遊び感覚で。
調川	20代	松浦高校でしかできないことが必要じゃない？
調川	20代	働く場所を用意するのではなく、「創れる」仕組みが必要ではないか？
調川	60代	人口が減少するのを緩和するために、出生率を上げるために、子育てにかかる費用が掛かりすぎるので（教育費など）昔みたいに多くを生み育てることができない（もっと支援等）
調川	70代	1.各地域の特徴をとらえた目標づくり（調川地区）水産業と運搬 2.松浦市国際貿易港構築を実現すること。
調川	70代	松浦を訪れる人口は500,000~600,000と資料に出ている。この人口に体験が含まれるかどうかかわからないが、ほとんど中高生だと思われる。これからは、一歩進んで成人の訪問を考えるべきである。そのためには、松浦湾の元寇の沈船を生かすべきである。世界遺産を目指す。そのために早急に発掘を進め、これを観光に生かすべきである。これをグラスポートで見物し、魚市場や海鮮料理などをセットにして、観光コースを設定し、大人による訪問を増やし、一人当たりの投下資金（お金を使ってもら）を増やす。
星鹿	40代	少子化対策として 松浦市の子育て支援はかなり充実している 大事なのは20~30代の働き口の確保だと思う
星鹿	40代	7割の中学生が市外の高校へ行くのを減らすには？ 他の高校との差別化を図るのはどうか？ 松浦は全国でも有数の漁獲を誇る漁港なので、例えば水産科を開設するなど。卒業後も定住してもらえるように。
星鹿	60代	松浦市で働きたい人をふやすにはどうしたらいいのか。松浦市でやれることの情報発信
星鹿	60代	市内の高校へ進学したいと思わせるにはどうすべきか
星鹿	60代	中学3年生の約7割が市外の高校の進学を希望については大いに結構と考えます。自分の将来を選択できるよい機会だと思います。能力を活かす
星鹿	60代	データについては今後変動する可能性あり。そんなに気にしてはいません。まだまだポテンシャルは大きい
星鹿	60代	子供をそだてやすい条件を整える。・仕事（自分に合った）がある・保育所がある・学童保育ができていて・医療費の負担が少ない・自然豊かで空気もきれい・親と触れ合う時間がある・家族が余暇を楽しむゆとりがある・家もある程度広い
星鹿	60代	人が集まる魅力的なイベントを作り上げる。考える事！！
星鹿	70代	子供をあまりにも自由な生き方で大人が認めてしまう。ある程度の年齢になれる家庭を作り、家族を増やして子どもを育てて自分も成長し親を尊ぶような人育をしてほしい。育てる環境は松浦はできている。
御厨	30代	もう少し滞在したい住みたいなーと思える街にするために→①自然豊かは大きな資源。心をリセットできる様な公園、アウトドア施設を充実させる②普遍的なもの、人の温かさ、やさしさに触れられるような集いの場をつくる（気軽に低価格）
御厨	50代	・若い人、女性の方でアイデアを募集！会社経営化。・高齢者とふれあう機会、子育てに口を出し手を出せるようなことも必要。・農業、水産業も法人化、企業化し安定した所得を保障できるようにできないか？
御厨	50代	・子育てを安心してできる為にはまずは「楽しい」と思える環境づくりができる施設や人材づくりが必要！！働いていても安心して預けられる場所は休日も必要。女性がもっと働きやすい職場づくりに行政も力をもっと注いでほしい！！
御厨	50代	地域の活力を維持するためには何が必要か？・役割分担・できることをできる範囲で
御厨	50代	地元での就職を考えるのに、資料が少ないので企業を回るバスツアー見学会を計画して参加して、その企業の魅力を考える。見て聞いて、触れてみて、地元の企業を考える。就職につなげていく。
御厨	60代	豊かな農地がたくさんあるので、農業をもっとしっかり考えたい。自然な作物をオーガニックに高齢化だから今ならまにあう。正しいおいしい野菜の作り方教えて
御厨	60代	若いお母さん方へ正しい食育を伝えたい
御厨	60代	人口増加対策 外国人の受入 外国人の町を作り外国人の住みやすい町づくり。外国人を労働者ではなく地域住民として迎える
御厨	60代	10年後の生活を振り返ったとき、安心して健康に過ごせるよう医療の充実が気になる 自分のできることを減らさない
御厨	70代	1級品の作物だけ作らず、3級品でも良いと思う 1級品で3割取るより3級品で10割とる方法もあると思うから
御厨	70代	オーナー制を取り入れて他市から客を呼び込む

地区	年代	これから10年を考える上で大切な視点はなんですか？という問いに対する参加者の意見
志佐	30代	若者の人口確保→高卒者の就職先の確保・魅力ある企業（安定的で、将来性のある企業の工場）などの立地が重要では。→大卒者の就職先の確保・魅力ある企業で、かつ就業状態多様な多様性が必要（EX.デスクワーク専門職）松高への進学支援も！
志佐	40代	「人口減少、移住対策」IターンUターンの両面から考える→市のPR・受入体制・仕事場の充実とPR
志佐	40代	「松浦高校の存続」市内に高校がなくなった場合、高校進学を機にひと世帯が他地域に引っ越し、人口減少が加速する→全力で高校PR！！
志佐	40代	若い人が市外に出ていかないためには、今あるものをより魅力あるものにしていくしかけ、新しいことを始めやすい環境を作っていく。今ある魅力を発掘していく。
志佐	40代	まちの活気をつくるためには、人が集える場所やイベントを作ったり活性化していく。人のつながりを作っていくしかけづくり。
志佐	40代	福岡市との関係性 外に出る戻ってくる関係性
志佐	40代	子供を”増やす”のではなくて集める（にがさない） 親もくる（にげない） 医療教育+面白さユニークさ ほっとする
志佐	40代	地域ならではの行事、維持できるか。維持するには？松浦は自治体規模の割に行事が盛ん
志佐	40代	市内の中学生が市内にとどまる
志佐	50代	若い人の市外への流出を防ぐには？ ・UターンIターンへの支援（サービス） ・松浦の良さの情報発信
志佐	50代	これから10年後大切な事 人生は幸せになるために生きている。1.地元、松浦のここはすばらしいところの再発見・星鹿の城山・不老山・調川の松山田から平尾の道路・福島の間田から見た朝日、夕日、景色。
志佐	50代	自然が美しいので人口は増えなくても、それを見に来る人を増やす
志佐	50代	松浦を定住地にして、そこから仕事場へ行けるように交通整備をする
志佐	50代	生きる意味・幸せの意味・価値観を育てる！ ・人から与えられた仕事？歯車、一つのピース？大企業で深夜まで働く？ 何が大切なのか！！町づくりはひとつづくり
志佐	50代	松浦を大好きな子供たちを育てる！！（小・中・高それぞれに）松浦の魅力を考えさせる
志佐	50代	人が人材 松浦の人って…やさしい、親切、あたたかい
志佐	50代	「競争」より「協力」（ケースバイケースではあるが…）
志佐	50代	松高生を増やす+定住+企業 農業・漁業・商業→学生の起業プランカリキュラム→実践する→収入が発生→地域での起業きっかけ→松浦で恋愛→定住→人口増
志佐	50代	郷土愛 マイナスよりプラスを語ろう→自分も他人（地区外の人）もプラスを聞くと松浦に移住定住を考えるきっかけになる
志佐	50代	住みよい（生活しやすい）地域になるように買い物のサポートや乗り合いができる交通手段を考えてみる
志佐	50代	6次産業と言われるようにブランド化して高収入な魅力のある仕事を作っていく
志佐	50代	高速道路の開通をいかに活用するか→福岡とつながることで福岡に人が流出しないか？→福岡の人をいかに呼び込むか。
志佐	50代	松浦をいかに生産性のある町にすべきか。観光誘致をSNSで→日本だけでなく世界のバックパッカーも含めて→民宿、旅館をバックパッカー向けに→バックパッカーたちがSNSで紹介。個人的には「夕日」を売りたい
志佐	50代	・住みやすい街・安心、安全（治安のよい街）・人の教育レベルが高く教養のある人たちが住む街・町の歴史を大切に
志佐	50代	企業誘致 女性が働ける企業（・コールセンター・事務仕事・託児所を設置・できる女性の会社） 女性増→男性も帰ってくる
志佐	50代	松浦高校の良さを発信 ・統合学科を作る・思い切って校名を変える？・進学、就職No.1
志佐	60代	・若者が松浦に住んで幸福を感じれるまち創り ・文化的、スポーツ、レジャー、祭り→満足度を高める
志佐	60代	活気ある人を育てる。人を集める活動。 生活に満足できる環境作り
志佐	60代	松浦市の情報をもっと全国に発信して、中学校、高校の修学旅行だけでなく一般人の体験学習を通して松浦の魅力を知らせてもらい移住してくれる人をふやす
志佐	60代	「これからの10年に向けて新しい視点」「松浦を魅力のある街にする」そのためには、依存する材料をピックアップして魅力化する→原石を探し出し→磨き上げる（方法も考える）→宝石にする（対象）学校、文化、伝統芸能

地区	年代	これから10年を考える上で大切な視点はなんですか？という問いに対する参加者の意見
志佐	60代	「様々な選択ができる仕事」・企業誘致の種類の幅を広げる ・IT企業等の誘致→空き家の活用→民間コンサルティングチームの創設→市が支援
志佐	60代	松浦にはくつろぐ場所が少ないので若い人の集い。お年寄りも集まる場所がほしい
志佐	60代	私は病院が近くにあるかということ。元気には過ごしたいけど病気になったら…運動、皆など仲良く話をしたり、行事にも参加してよりよい生活をする
志佐	60代	2世代、3世代の同居生活家族を増やす ※家業の価値、地域文化の魅力、先祖への想いなどを考える子供を育てる
志佐	60代	過疎は恐くない！色々いいこともあるという発想の変換を！
志佐	60代	家庭単位で考えて 子育て世代、夫婦のみ世代、高齢単身世代 各々が住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくり 移手段、買い物、医療、福祉は確保
志佐	60代	社会人となって松浦に戻るためには、働く場所、職種、住みよい環境etc 楽しめるモノ（知的好奇心を喚起）
志佐	60代	30代男性の未婚率が5割とは驚いた。婚活のパーティーとか相手が見つかるような活動を支援することも大切では。すでに行われているのかな。
志佐	60代	人口が減少しているのに、扶助費が多くなっている。高齢化のため、もう少し対応策ないのか。安易に考えられていないか。
志佐	60代	子どもの出生率の増加 早期結婚の必要性 子供を産んだ後の女性の働く就業の対応 仕事で安心して子供を預ける施設設置が必要である
志佐	60代	松浦を訪れる人を増す。現在交流公社を中心として修学旅行生などを受け入れているが、キャパが縮小している受入体制の拡充が必要である。
志佐	70代	訪問者への市の歴史PR館 どんな町（市）なのか知る場が必要
志佐	70代	住民の憩いの場・交流の場 志佐川河畔公園 遊具いきもの花により四季を楽しめる場を
志佐	70代	子育て施策 楽しいまちづくり→幸福へ 子育て施設の充実（支援） 幼児～小学生：子供が遊び学ぶ児童館、遊具1日中遊べるもの！ 中学生～高校生：スポーツで例をみると、スケボー施設やクライミング施設等、トレーニング場所
志佐	70代	若い方が少しでも増えるには（10年後）交通の便、仕事、等充実を図る
志佐	70代	老人が楽しく老後を送るには、医療、予防を（スポーツ等）充実する健康等に気を付け自立する
志佐	70代	観光・交流人口：大人、外国人の体験ができる体制で交流人口の増加、市内の中・高生も体験、民泊の実施
志佐	70代	海や自然：1.海、山、自然が美しいので海水浴場（大崎、志佐、今福）の3～4か所を整備して楽しい場所を造る 2.不老山公園の下側の現在山林を公園化拡大して九州の公園にする 3.荒れた田畑を無償で借り、グループ、地区自治体単位で管理が簡単なカボスなどを作り加工品を作る
志佐	70代	松浦市民の交流の場を!! 昔の市民体育大会の様に各町から集まり（現在は市民運動公園だが）スポーツ競技、レクリエーション競技をして交流を深め情報交換をする
志佐	70代	・どうすれば良いか？市外からのスポーツ合宿を呼び込むには？※（交流人口）の増加 ・山を買って開発”陸上競技場”を作りスポーツ合宿所を作るから食材は地元のものを活用する。（大学、実業団など呼び込む）

地区	年代	これから10年を考える上で大切な視点はなんですか？という問いに対する参加者の意見
松浦高校等	10代	人口というよりは若い世代（30代まで）を増やすために第3次産業をふやす。職種も増えるし、若い人が集まる場にもなると思う。
松浦高校等	10代	松浦の中心となるところを作り、そこをとことん便利な町にする。各地区からそこへの交通も考え整備。
松浦高校等	10代	松浦市の魅力をPR ・松浦高校の実績・特産物・イベント→注目できる物を作る！！広報する範囲の拡大
松浦高校等	10代	人口を増やす取り組み→人口を減らさない取り組み ・松浦市に魅力あるものを作る→市民の協力（人と人との助け合い） ・出生率の上昇→市が自由に使える費用（ふるさと税など）を出産される方への援助
松浦高校等	10代	20代30代が松浦に多く残るようにすることが松浦の活性化につながると思います。ですが、生まれてからずっと松浦にいても松浦の良さや、悪さははっきりとはわからないと思うので一度外に出た人が戻ってきたいと思うような職場だったり、環境を作っていくことが大事だと思いました。今の松浦は、戻ってきたいとは思えません。
松浦高校等	10代	どうしたら市内の高校に来るか 市内には松高しかなく、その中でも「普通科」と「商業科」しかないからその2種類の目的でしか入学できない。科を増やしたいのが入学を希望する人が少ないので松高にしかない、何かの取り組みを行ってみる
松浦高校等	10代	松浦高校に人（学生）が来ないのは、中学生に「魅力」や「結果」、「中学生が求めるもの」を示せていないからでは？
松浦高校等	10代	交通の便を良くするには？もっと市内を行き来できるように、小さいバスでもいいので走らせる。「ちょっと買い物」というときに不便だから
松浦高校等	10代	松浦高校に行く人をふやすには？朝補習がきついなどの悪いイメージがあるので、良い所をもっと発信する。（イベントなど）
松浦高校等	10代	まずは、市外（県外）に出て行って見て、自立することが大事！
松浦高校等	10代	松浦に大きな施設を作る
松浦高校等	10代	都会の高校との交換留学 期間1か月～1年間程度 ・住んでいる地域との違いを感じる・都会の良さ、悪さ・田舎の良さ、悪さ 体感体験するチャンス!! 価値感
松浦高校等	10代	若者が松浦に帰ってきたいと思えるように、働き始めやすい環境をつくる。例）農業：農業経験がない若者がいきなり農業を始めるのには抵抗があってはじめてにくい→普通科の高校でも（大学生も）農業と関わるきっかけを持つことができるプログラムを取り入れる。漁業でも農業でも、抵抗なく始められるように
松浦高校等	10代	若い人が松浦に残る様に働ける職業の種類を増やしたり選択の幅を広げる
松浦高校等	10代	松高と市外の進学率の進学率は変わらないが市外に出ていく人が多い。なぜ出て行ってしまふのか…どうすれば松高に来たいと思うか→松高の良さ魅力を伝える→松浦のすばらしさを知る。松高でしか出来ないことをする
松浦高校等	10代	松浦から出て行ってしまふ人が多い→外に出てみている色々な経験をするのはいいことだが→やっぱり松浦に戻りたいと思えるようなところにする。魅力を感じる機会を増やす。
松浦高校等	10代	高校生を残すためには楽しさが必要。進学率などよりは学校行事や放課後の楽しさを重視。中学校との変化
松浦高校等	10代	松浦の良さを伸ばす。新しいことより、今あるもの（人の良さなど）を大切にする。市内に残る人を大切に。
松浦高校等	10代	市内への進学 ・部活動の種類を増やす・施設の整備・良さを広める（助成金など）・生徒が学びたいコースをもっと選べるようにする
松浦高校等	10代	住みやすいまちづくり ・空き家対策 ・リフォーム（新しい住居を建てるより安くて済む）
松浦高校等	40代	松浦から出て、松浦を外から見る（外から見える松浦の良さ）
松浦高校等	40代	安心して暮らすためには医療施設の充実（できれば県内随一のレベル 患者が外から来るぐらいの）
不明	不明	・地元高校へ… ・松浦産業に関係する科をふやす ・交通の便を良くする。この地区に住むことが大切。仕事は他の地へ通っていくもよし
不明	不明	お年寄りに加わってもらい子育て支援等